

解禁時間：2017年2月1日（水）正午（日本時間）

プレスリリース



2017年1月31日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

W3C（ワールドワイド・ウェブ・コンソーシアム）と IDPF（国際デジタル出版フォーラム）が正式統合 - 出版の未来形を描くロードマッピング

W3C（ワールド・ワイド・ウェブ・コンソーシアム）と IDPF（国際デジタル出版フォーラム）は2月1日に正式に統合契約を締結し、出版とウェブ技術を融合するという将来展望に向けてロードマップ作成に着手します。
W3C@Publishing は、ウェブで読む、著作する、公開する、或いはコンテンツやサービスを検索する技術の草分けとなります。

1. 統合について

W3C は HTML、CSS、SVG、XML や WCAG などのウェブ技術の根幹を策定する世界的な標準化組織であり、IDPF は、電子書籍と電子出版をグローバルに流通させる電子書籍ファイルフォーマット規格 (EPUB*)を開発しています。

2016年5月に IDPF がシカゴで開催したカンファレンス (DigiCon)において W3C と IDPF の連携が公表された際には、ウェブの発明者であり W3C ディレクターであるティム・バーナーズ＝リーが、ウェブを利用した電子出版の将来展望について見解を述べています。

IDPF 会員の大多数 (88%)がこの統合計画に賛成し、IDPF 理事会と W3C は諸手続きを終了させました。本契約は、W3C で前例を見ない組織数 (EPUB を今後もオープンなロイヤリティなしで使用する規格とすることに賛同した IDPF 会員、そのほかの標準化団体、IDPF には未加盟の大手出版社など)との連携も含んでいます。

*EPUB は W3C の 商標です。

2. 関係者のコメント

W3C CEO のジェフェリー・ジャフィは、「書籍、雑誌、ジャーナル、教材や学術出版物といった多くの形態でコンテンツをこれまで提供してきた、卓越した豊かな伝統をもつ出版業界の知見を取り込めることに心が躍ります。これから一緒に議論をすることで、Publishing@W3C でウェブ技術を使ったパブリッシングとオーサリング、そしてリーディングに関するエキサイティングな新しい機能と仕様の標準を作っていきますが、出版に携わる皆さんは、音楽やエンターテインメント業界が先行して取り込みつつある新しい技術を目の当たりにするでしょう。将来、作家は動的なドキュメントや検索、マルチメディアへのリンクなど、様々な要素と自然につながっていくウェブの機能を組み込むことができるようになるでしょう。」と語ります。

誰もが知にアクセスできるようアクセシビリティの分野で活躍してきたダイジェストコンソーシアムで、技術面を2010年からリードし前 IDPF 会長も兼ねていたジョージ・カーシャー氏は「双方の組織を統合することで、技術とコンテンツが協調・融合していくことが容易になっていきます。ウェブ上でもオフラインでも、全ての利用形態における出版活動が、自然でアクセシブル、かつデバイスに縛られないようなコンテンツになっていく未来に手が届くスピードが加速されるのです」と語っています。

3. 今後の展望

Publishing@W3C は、オンラインでもオフラインでも電子出版にアクセスできることにフォーカスした新しい標準を含む憲章(チャーター)をこの春に起草します。これは、ウェブに接続していないデバイスのコンテンツがオンラインに戻った時にもオフライン上で行なった情報を保つことを可能にし、逆の状況でも同様の動作を実行できるようにすることを意味します。

現在の EPUB のメンテナンスと今後の EPUB のサポート環境を整備するため、W3C は EPUB (3.1) コミュニティグループ (CG)を立ち上げます。ここには誰もが無償で参加できます。

W3C は、次世代の EPUB の要求仕様を議論するために、Publications ワーキンググループ (WG) の設立を検討しています。次回の EPUB Summit は、3月9日、10日にベルギー・ブリュッセルで開催されます。

またロンドンブックフェアの直前3月13日には、新設される W3C Publishing ビジネスグループ (BG) が英国ロンドンで第一回目の会合を開きます。W3CPublishing BGにはIDPFとW3C会員はもちろん参加できますが、当BGに興味を持つ外部組織も参加可能です。本BGは新たなニーズや要件を広く吸い上げ、出版業界の議論の場として機能するコミュニティの拠点となります。

W3C は、前 IDPF 会員や出版のエコシステムに関心を持つ組織が W3C へのスムーズな移行を監督する担当としてビル・マッコイ (IDPF 前エグゼクティブ・ディレクター)を任命しました。前 IDPF 理事達は W3C Publishing のスティアリングコミッティに就任し、戦略的な方針を決定し、また出版業界や Publishing@W3C と協調して本グループの活動を促進していきます。

4. 参考

ワールド・ワイド・ウェブ・コンソーシアム(W3C)について

W3C は、地球上あらゆる場所で誰もがオープンに、アクセシブルに、そして相互運用ができるウェブの技術標準とガイドラインを策定するために、ウェブの可能性を最大限に引き出すことを使命に掲げており、HTML5 や CSS など、全てのウェブサイトを構築する基盤技術を標準化しています。キャプションと字幕付きオンラインビデオをよりアクセシブルにする W3C の技術は、2016年のテクノロジー&エンジニアリングエミー賞を受賞しました。400を超える会員と各産業の数千もの技術者が、W3Cのビジョンである「One Web」を創り上げています。W3Cは、米国 MIT Computer Science and Artificial Intelligence Laboratory (MIT CSAIL: マサチューセッツ工科大学計算機科学人工知能研究所)、フランス European Research Consortium for Informatics and Mathematics (ERCIM: 欧州情報処理数学研究コンソーシアム)、慶應義塾大学、及び中国の北京航空航天大学 (Beihang University)により共同運営されており、各国に W3C オフィスを設置しています。詳細は <http://www.w3.org/>をご参照ください。

国際デジタル出版フォーラム (IDPF) について

IDPF は電子出版ビジネスの世界的な普及と標準化の発展促進のために組織された団体です。参加者には出版社、IT 企業、出版業界団体、官庁、教育関連組織などが含まれています。IDPF は電子書籍の交換・配信用標準フォーマット EPUB の開発者でもあります。詳細は <http://idpf.org> をご参照ください。

〈問合せ先〉

慶應義塾大学SFC研究所W3C事務局
TEL 03-3516-2504 FAX 03-3516-0617
E-mail: keio-contact@w3.org

〈配信元〉

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室学術研究支援担当
TEL 0466-49-3436
E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp